

3 生活

(1) 火災発生状況

令和4年の管内火災件数は69件、死傷者数は28人であり、昨年より火災件数が減少したものの、死傷者数は増加した。また、四季別では春季(3～5)月の発生が多かった。原因別にみると、「ストーブ」によるものが多かった。

【表7】管内市町別 火災発生状況(令和4年)

市町・地域	火災件数			焼損面積		り災世帯 (世帯)	死傷者数 (人)
	(件)	うち建物	うち林野	うちその他	建物(m ²)		
鶴岡市	32	22	1	9	1,678	4	12
酒田市	30	21	0	9	1,333	0	27
三川町	2	2	0	0	98	0	1
庄内町	2	2	0	0	454	0	2
遊佐町	3	2	1	0	106	11	1
庄内計	69	49	2	18	3,669	15	43
対前年	90%	120%	67%	55%	96%	12%	159%
令和3年	77	41	3	33	3,828	123	27

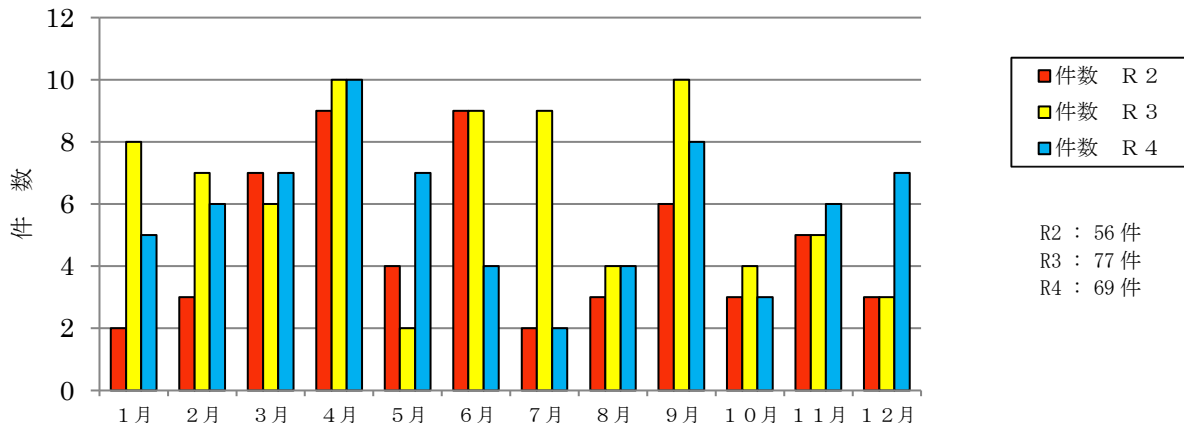
資料：管内消防機関の火災統計より作成

【表8】管内原因別 火災件数

	1位	2位	3位	4位	5位
令和4年	ストーブ <9件>	こんろ、電灯・電話 等の配線、たき火 <各5件>	放火 <3件>	灯火(ろうそく)、 たばこ、配線器具 <各2件>	溶接機・溶断機、 電気装置、取灰、 電気機器、放火の疑い <各1件>
令和3年	電灯・電話の配線 <7件>	たき火 <5件>	こんろ、たばこ <各4件>	電気装置、ストーブ、 放火の疑い <各3件>	放火、排気管 <各1件>
令和2年	たき火 <7件>	たばこ <5件>	放火の疑い、 こんろ <各3件>	ストーブ、電気機器、 電灯・電話の配線 <各2件>	煙突・煙道、 焼却炉、内燃機関 <各1件>

資料：管内消防機関の火災統計より作成

【図3】過去3年間の月別火災件数



(2) 自然災害発生状況

令和4年の自然災害による被害は、人的被害 21 人、住家被害 7 棟、非住家被害 49 棟と、前年より人的被害、住宅被害ともに減少したものの、非住家被害が増加している。

【表9】自然災害年報速報

区 分			令和2年	令和3年	令和4年	
人的被害	死 者	人	0	2	3	
	重 傷	人	4	14	12	
	軽 傷	人	4	18	6	
計			8	34	21	
住 家	全 壊	棟	0	0	3	
		世帯	0	0	3	
	半 壊	棟	0	0	1	
		世帯	0	0	1	
	一 部 損 壊	棟	0	31	3	
		世帯	0	31	3	
	床 上 浸 水	棟	5	0	0	
		世帯	5	0	0	
	床 下 浸 水	棟	51	0	0	
		世帯	51	0	0	
	計		棟	56	31	7
			世帯	56	31	7
非 住 家	公 共 建 物	棟	1	2	0	
	そ の 他	棟	52	14	49	
計		棟	53	16	49	

資料：災害年報（管内市町、防災くらし安心部防災危機管理課）

【表10】主な被害額

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度
施設被害（公共土木）	千円	203,103	6,087	173,117
農林水産被害（施設被害含む）	千円	713,254	1,475,741	128,959
※被害額は未確定を含む。	計	916,357	1,481,828	302,076

資料：農林水産関係被害：庄内総合支庁産業経済部
公共土木被害：同総合支庁建設部

【参考】 各年度の主な災害

令和2年度……令和2年7月豪雨

令和3年度……大雪、暴風雪

令和4年度……令和4年8月3日からの大雨、鶴岡市西目地内の土砂崩れ災害

(3) 交通事故発生状況

令和4年の県内の交通事故発生件数及び負傷者数は前年と比較して減少したが、死者数は26人（前年比2人増）となり、うち高齢者（65歳以上）の死者数が17人で65.4%を占めている。

このうち庄内地域では、交通事故発生件数及び負傷者数は減少したが、死者数は9人（前年比5人増）となっており、うち高齢者の死者数は5人で55.6%を占めている。庄内地域の交通事故死者数は県全体の34.6%を占め、人口比（24.6%）と比較し高くなっている。

【表11】交通事故発生件数・死者数・負傷者数の推移（1/1～12/31） （単位：件、人）

	県 全 体			庄 内 地 域		
	発生件数	死者数	負傷者数	発生件数	死者数	負傷者数
平成25年	7,082	39(22)	8,752	1,532	8(6)	1,827
平成26年	6,426	44(24)	7,811	1,330	9(6)	1,591
平成27年	6,446	57(35)	8,037	1,315	12(6)	1,593
平成28年	6,136	28(15)	7,670	1,234	7(5)	1,470
平成29年	5,816	38(26)	7,244	1,174	12(8)	1,448
平成30年	5,097	51(35)	6,199	1,055	16(10)	1,241
令和元年	4,292	32(22)	5,135	897	7(6)	1,066
令和2年	3,328	30(19)	3,975	739	9(6)	872
令和3年	3,184	24(16)	3,760	701	4(2)	832
令和4年	2,970	26(17)	3,469	622	9(5)	722

※死者数のカッコ内数字は、高齢者の内数。

【表12】交通事故発生件数、死者数、負傷者数の県・庄内地域の前年比較

	発生件数（件）			死 者 数（人）			負傷者数（人）		
	令和4年	令和3年	前年比	令和4年	令和3年	前年比	令和4年	令和3年	前年比
県全体	2,970	3,184	93.3%	26	24	108.3%	3,469	3,760	92.3%
庄内地域	622	701	88.7%	9	4	225.0%	722	832	86.8%
庄内／県	20.9%	22.0%		34.6%	16.7%		20.8%	22.1%	

(4) 県税の調定額と収入額

① 県税決算

- 庄内総合支庁における令和3年度の県税の決算は、調定額 19,596 百万円、収入額 19,379 百万円、収入率 98.9%となっている。

② 調定額

- 令和3年度における調定額の県全体に占める割合は、16.6%である。
- 主要税目別では、調定額(現年度分)順に、個人県民税 7,602 百万円、法人事業税 4,375 百万円、自動車税(種別割) 3,554 百万円、軽油引取税 2,612 百万円、法人県民税 502 百万円、不動産取得税 451 百万円、法人事業税 284 百万円、自動車税(環境性能割) 152 百万円となっている。

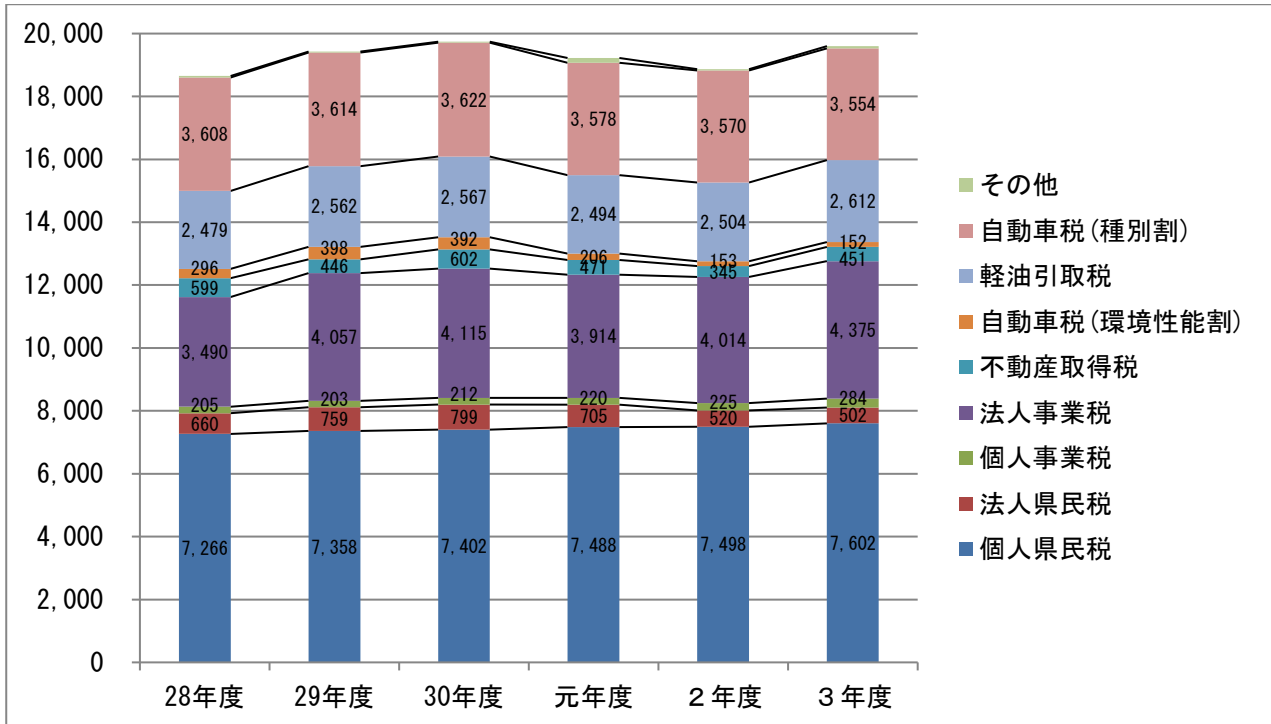
【表13】 調定額と収入額の推移

(単位：百万円、%)

		H28	H29	H30	R元	R2	R3
山形県	調定額	110,936	113,169	112,999	111,718	112,030	118,154
	収入額	109,363	111,757	111,682	110,434	110,339	117,073
	収入率	98.6	98.8	98.8	98.9	98.5	99.1
庄内	調定額	19,011	19,712	20,008	19,458	19,104	19,596
	割合	17.1	17.4	17.7	17.4	17.1	16.6
	収入額	18,675	19,449	19,751	19,204	18,872	19,379
	収入率	98.2	98.7	98.7	98.7	98.8	98.9

【図4】 主要税目の年度別調定状況

(現年度分、単位：百万円)



資料：庄内総合支庁税務課調べ